

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)		福島第一 敷地沖合15km		福島第二 敷地沖合15km		炉規則告示濃度限度 Bq/cm ³ (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成23年5月9日	平成23年5月9日	平成23年5月9日	平成23年5月9日	平成23年5月9日	平成23年5月9日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	9.6E-03	0.24	4.8E-03	0.12	ND	-	ND	-	4E-02
Cs-134 (約2年)	6.3E-02	1.1	6.3E-02	1.1	ND	-	1.5E-02	0.25	6E-02
Cs-137 (約30年)	6.8E-02	0.76	5.7E-02	0.63	ND	-	ND	-	9E-02
Sr-89 (約51日)	2.4E-03	0.01	1.9E-03	0.01	2.8E-04	0.00	1.4E-03	0.00	3E-01
Sr-90 (約29年)	4.4E-04	0.01	3.4E-04	0.01	1.2E-05	0.00	2.4E-04	0.01	3E-02

E- とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

I-131, Cs-134, Cs-137については、5月10日公表。

分析機関：日本分析センター(Sr-89, 90)、東京電力(I-131, Cs-134, Cs-137)

(評価)

沿岸・沖合共にSr-89, 90が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、それぞれ告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である